

# 目 次

はしがき

凡 例

序 章 民法の意義と基本原則	1
1 民法とは	1
2 民法の立法過程と改正	4
3 民法典の構造	5
4 民法の法源	6
5 私 権	8
6 民法の基本原則	9
第 1 章 権利の主体 1 —— 自然人	19
1 私権の享有（権利能力）	19
2 意思能力	22
3 行為能力	23
4 住所と居所	35
5 不在者の財産管理と失踪宣告	36
第 2 章 権利の主体 2 —— 法人	44
1 法人とは	44
2 法人の種類と設立	46
3 法人の機関	53
4 法人の能力	55
5 法人の消滅	62
6 法人格と実態の不一致	63

<b>第3章 権利の客体</b> .....	66
1 権利の客体の意義	66
2 物の定義と性質	67
3 物の分類	70
<b>第4章 法律行為1——序説</b> .....	76
1 法律行為とは	76
2 法律行為の分類	78
3 法律行為の成立と有効性	80
<b>第5章 法律行為2——意思表示</b> .....	91
1 意思表示の意義と構造	91
2 心裡留保	95
3 虚偽表示	97
4 錯誤	105
5 詐欺による意思表示	113
6 強迫による意思表示	119
7 詐欺・強迫要件の消費者契約法による緩和	122
8 意思表示の効力	123
<b>第6章 法律行為3——代理</b> .....	127
1 代理（代理総論）	128
2 無権代理	144
3 表見代理	157
<b>第7章 無効と取消し</b> .....	166
1 無効	166
2 取消し	172

第 8 章	条件・期限・期間	178
1	条件と期限	178
2	期 間	187
第 9 章	時 効	190
1	時効制度総論	191
2	取得時効	201
3	消滅時効	206
附 録		212
判例索引		213
事項索引		218